

第4回 リニア・瑞浪恵那道路・ 新丸山ダム特別委員会

令和6年5月8日（水）	開会 13 時 30 分
5階 第1委員会室	閉会 14 時 00 分

午後1時30分 開会

○委員長（辻 正之君）

皆さん、こんにちは。

それでは、令和6年第4回リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会を開会いたしますので、よろしくお願いいたします。

議題ですけれども、まず最初に委員会活動ということで、前回に話をさせていただいて、取りまとめてみましたので、よろしくお願いいたしますと思います。

まず、活動計画を見ていただきたいと思います。

この中で、まず5月、今日からですけれども、国道19号瑞浪恵那道路休憩施設整備（国事業）の研究をしていこうということで、載せさせていただいております。これは数回開催させていただきますだけあればありがたいかなというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

それから、7月23日ですけれども、午前10時から東海旅客鉄道株式会社にて、リニア残土処分場についての進捗状況の勉強会を開きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、8月22日ですが、これは午後になりますけれども、新丸山ダムの現地視察というように計画を立てておりますので、この計画で今年度は進めたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

こちらの7月23日の勉強会と、それから、8月22日の新丸山ダムの視察について、1か月ぐらい前に、例えば、質問事項として、6月中に一応、用紙を配りますので、質問事項がありましたらそれに記入していただきたいと思いますというふうに思います。

それから、あと、8月22日の新丸山ダムの現地視察については、質問事項があれば、これは7月中までに出していただきたいと思いますというふうに思っておりますので、できるだけ質問していただければありがたいと思っておりますので、お願いします。

一応、活動計画についてはこのような形で一旦、進めますので、よろしくお願いいたしますと思いますが、特によろしいでしょうか。

○6番（大久保京子君）

すみません、ちょっとお尋ねしますけれども、5月のこの事業の研究というのが数回って書いてあるんですけど、どういう。

○委員長（辻 正之君）

これから2番目の事項になるんですけども、ここで話を皆さんからお聞きして、道の駅の、以前、

過去に視察された内容をお聞きしまして、それを聞いた内容を精査しないといけないもんですから、取りあえず、お聞きして、そして、後日、ちょっとアンケート的な形で、課題とか要望とか提案というのがあれば出していただきまして、それをまた元に、もう一回ちょっと開けたらいいかなというふうな意味合いで考えているところです。

それで何回ということはちょっと分からないんですけども、取りあえずそういう形でお願いしたいなというふうに思います。

○6番（大久保京子君）

休憩施設整備。

○委員長（辻 正之君）

これはちょっと、私が後でお話ししますので、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（辻 正之君）

次の2に移りたいと思います。

議題の2ですけれども、国道19号瑞浪恵那道路休憩施設整備についてということですけども、ここにはこう書いてありますけれども、皆さんで道の駅を視察されたその内容でいいですので、それぞれ聞かせていただきたいなと。その中から、つながるものがあれば、提案とか課題とかについていけるんじゃないかなと思いますので、道の駅の視察に、それぞれ会派で行ったり、個人的に行かれたりということもあると思いますので、その辺のところの視察の内容をちょっとお聞かせ願いたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

これを聞く理由としては、ここに議長諮問から、見ていただいていると思いますけど、出ておりまして、「瑞浪恵那道路事業の道の駅計画関連については、委員会活動として課題を明らかにし、提案、要望など積極的に取り組む」というふうに議長諮問が出ておりますので、取りあえず、まだ実質的には計画が今年作成されるということですので、今年からですね、設計はまだ来年度ということですので、まだたたき台がないということですので、研究という形で取りまとめさせてもらいたいなというふうに思いますので、お願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、棚町委員、過去に行かれた道の駅の様子を順番にお願いしたいと思うんですけど。

○2番（棚町 潤君）

今の瑞浪の道の駅の課題っていうのは、やっぱり当初は釜戸町民の力を生かした、釜戸なりのオリジナリティーあふれる道の駅を作るところだったのかなと思ってます。それが、釜戸の道の駅のほかの道の駅との差別化につながるっていうことかなと思っていたんですが、そこら辺がちょっと今、ぼやけてきちゃってて、あそこで釜戸町としてはなかなかそのリスクを背負うことができないっていう中で、引き受けられないっていう中で、サウンディング調査になって、助けてくれる企業を模索しているっていうのが今の現状かなっていうのは、僕が勝手に判断してることももし

れないですけど、そういうふうに私の中では判断しています。

道の駅の何がいかって言われたところで、どこの道の駅も差別化を図って、個性を出してやっていращやるので、その町に合ったやり方でやるのが一番良いのかなというふうに思う中で、やっぱり釜戸町の人たちが釜戸町なりに良いところを出してくるのが道の駅の差別化につながったのかなと思うので、その辺がやっぱり、今の瑞浪の道の駅の課題で、その上で更に何をと、道の駅を展開していくかっていうのは考えていかなあかんかなと思います。

ここしか勉強できず、すみません。

○委員長（辻 正之君）

あとはよろしいですか。

○2番（棚町 潤君）

あとは大丈夫です。

○委員長（辻 正之君）

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、小木曾委員、お願いします。

○3番（小木曾光佐子君）

随分前に「道の駅とよはし」を見に行ったと言いましたが、この委員会とは全く違うので、建物とか、中で売ってるものとか、そういったものを見てきてるので、今回はそういうのの全然違う話になっちゃうので、できないということと、これも市長が連合自治会で説明されたときに配ってる資料で、町民の方たちもみんなもらってみえるんですよね、これ。ただ、釜戸町ってことで、やっぱりよその地区はどうしても他人事になってしまうので、各まちづくりに声がかかって、みんなも考えろっていう指令が出てるんです。各まちづくりに。この道の駅のことを考えてくれっていう。

だけど、私たちの委員会でやるのは、どういう施設があったらいいのかっていうことを話す委員会じゃないので、今で言うところ、道路の付け替えが云々で、出入りがしやすいのか、事故が起きひんかとかっていうようなことを調べていくしかないんで、それがもう少し形にならないと、研究していくにしても難しいかなと。

それと、公共施設の再編のところ、この辺のところに竜吟保育園や釜戸のコミュニティーを作ろうという構想もあるので、それも地域経済建設委員会に関係してくることだと思ってるんで、まだ全くその姿が見えてこない。絵としてはここにあるんですけど、これ自体をこの会で話すっていうのが難しい話なので、これは様子見をしようとしてもいいのかなという気はします。

以上です。

○委員長（辻 正之君）

今のご意見に対して、何か。

それじゃあ、渡邊委員、よろしくお願いします。

○4番（渡邊康弘君）

中の施設については、所管が違うというところなのであれですけど、取り付け道路であつたりとか、設計、この先の話になってくるんですけど、まず大前提として、瑞浪市単独で道の駅を作るのか、恵那市が作るのかによって、取り付け道路とかそういった部分も大前提が変わってくるので、片側になるとか、そういうところを。

そういったところが明確になってきて、国が瑞浪も恵那も含めて、道の駅事業をやるよっていう返答があった段階で、こうやって今、一生懸命やってますけど、それはなかなか協議を指示していても、いわゆる市がものを机上のベースになってしまっているんで、協議するのであれば、明確に恵那、瑞浪ができるようにすると決まったりとか、もしくは瑞浪市だけで単独でやるとか言い出したら、単独でやるという話が出た段階であれば、取り付け道路をどうしていくべきかとか、こういう指導をしていくべきだっていうのを、トイレのサイズから何から全部変わってきちゃうので、そういうところで非常に、何を協議するのかっていうところも難しい段階であるんじゃないかなと思います。

○委員長（辻 正之君）

今のご意見に関して、ご質問があれば。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、大久保委員、お願いします。

○6番（大久保京子君）

今言われたのと一緒なんですけど、さっき言われたように、区長会での。

○3番（小木曾光佐子君）

まちづくり。

○6番（大久保京子君）

まちづくりの。区長会でもいただいたということで、釜戸だけじゃなくて、ほかの地区も考えてくれる。だから、結局、瑞浪市全体に考えてくれっていうことだと思うんです。

今までは釜戸の方々がっていうことで、釜戸の人の意見、あれやったけど、やっぱり市民の方の、多くの市民の方のお考えも一回聞くっていうことはいいのかなとは思っています。そちらの方向をやるっていうのは一つ。

でも、やっぱりこの特別委員会のやるべき事業っていうか、対象がちょっと違うのではとは思ってますけど。

○委員長（辻 正之君）

今の内容についてご質問があれば。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、榛葉委員、お願いします。

○5番（榛葉利広君）

4年前になるかな。2020年10月に構想ができたときに、どこでやったかな。釜戸でやったんかな。

で、都市計画のひとつとして説明をしてくれた。そのときに恵那の話を初めて僕は聞きました。

それで、これSNSにも投稿しとるんやけど、そしたら結構、瑞浪市として作らんというのも手ですよって言われた記憶が残っております。

そういうちょっと、微妙なところなんやろうね。きっと。

先ほど、ちゃんと決まってからやったほうがいいんやないかっていうご意見もあるので、そこら辺はちょっと、委員長もよく考えてもらったほうがいいんかなっていう気はしますけど、うん。ですかね。

ちょっと会派で視察したとか、そういうことはうちはないので、聞いた程度ですけど。

○委員長（辻 正之君）

今のご質問がありましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、三輪田委員、お願いします。

○1番（三輪田幸泰君）

私も皆さんと同じ意見で、やはりうちの特別委員会と地域経済建設委員会ですかね。やっぱり持つとるもんが違いますから、道の駅、釜戸を主体として道の駅構想っていうのは、うちが口出せる、うちの委員会が口出すこと、口出せる、協調して、委員長同士で一緒にやるぞっていうふうになにか合意があれば違いますけれど、うちの特別委員会であだこうだっていうのはちょっと違うのかなと思ひまして。

ただ、特別委員会の中の、財布と言いませんけれど、これで事業を執行する云々っていうのもないですから、それを認めていくに関しては、やっぱり国として、ちょっと嫌らしい言い方になりますけれど、必要最小限のものはつけちゃうよっていうような説明やと思いますので、それこそ、ありがとうございましたと頭下げるくらいしかないのかなと思って。

今、議長がおっしゃった研究中也にしても、やはり図面ができて、その位置がいいのか、悪いのかっていうのは当然、私らの次元を超えた、皆さんが考えておるものですので、そこに対して、これはちょっと長過ぎる、短過ぎるなんていって、当然、土地の高さの部分も関係ありますので、それは素人と言ったら悪いんですが、私みたいな素人に口出しできる場所はないかなと思うんですけど。

また、地域の方々の今のこの現状について、市民の方々がどう思うかっていうことは、やはり集約はできると思うんですけど、そこら辺やっぱり絵ができてみんなことには、どこにできるかなんかって言っとって、話がまた、とんちんかんなことになっちゃいますので、ぜひ青写真にすれば、ある程度、「ここまでできるで、みんなどうや」っていったのも、そこで集約できるのかってなったときに、「いや、違いました」となると、またもう一回、一からやり直しになっちゃって、また地元の方もなんだってなったときに、また何かまた変な温度になってるんやないかなと思います。

やはり本当、青写真っていうのができて、これで進むぞっていうものに対しての地域要望っていうのは、うちとして、地域ですので釜戸になっちゃいますけれど、あとは瑞浪の皆さんに、ここに

取り付け道路ができるよってというようなことを投げれるのかなって思います。

今この説明書で集会をやって、なかなかできるようでできないので、思うところであります。

○委員長（辻 正之君）

今の三輪田委員の話、ご質問があれば。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（辻 正之君）

じゃあ、僕からなんですけども、道の駅で会派で行ってきまして、令和4年11月14日ですね。

「お茶の京都みなみやましろ村」というところへ行ってきたんですけども、ここでは道の駅を立ち上げるのに、やはり市の職員の人がまず、道の駅を作ろうということで、必死にいろいろと考えを出されて、頑張ってみえまして、その中でどうしたらいいかということで、商品開発とか、物販とか、そういったものをいろいろ研究されて、村で暮らし続けられるようなことを理念として、取り組まれておみえになりました。

それが大体、4年ぐらいかけて、その道の駅をどうしたらいいのかということとか、運営主体は南山城としての会社を作ったほうがいいんじゃないかというようなことで、いろいろと取り組まれて、4年間かけて立ち上げられました。

ここですと京都とかああいったところに近いので、そちらからのお客さんとか、そういう人を呼び込めるような道の駅にしたいということで、取り組まれておりまして、それが元でいろいろなものを、地元の名産っていいですかね。ここはお茶が有名だそうですので、お茶を題材にした抹茶プリンとか、何て言いますか、抹茶のアイスクリームとか、そういうようなものを開発して販売するというようなことで、道の駅として集客を作られているというようなことを見てきたわけなんですけれども。

道の駅として、集客がないとやはり厳しいかなというようなことがありますので、今度、釜戸町に作る道の駅を立ち上げるとしたら、そういうふうにやられる方に、一生懸命、そういう駅長さんですかね。になってやってもらえるような人が見つからないと、非常に厳しいかなというのを感じたところです。

ここに挙げました、施設とかそういったものとか、接続道とかいうものは、全く僕らも、そういう意識をして道の駅を見てきたわけじゃないので、そういう細かい内容は分かりませんが、今回の釜戸町にできる道の駅の駐車場とか、休憩施設を含めると大体1ヘクタールぐらいのスペースで、トラックとか乗用車とか、そういうものが国の事業で作ってもらえるような、取りあえずはそのぐらいの程度しかちょっと分かりませんので、そういう範囲で、そこに道の駅ができるのかなと。

あとは市の事業として、いろんな販売するステーション、そういうようなところができるというようなことを感じる。取りあえずそんなことを勉強してきたわけですけども、大体そんなようなところですので、皆さんが言われたように、まだこれはちょっと形が、サウンディング調査してますので、その結果が出て、今年の半ばから後半ぐらいに基本設計というか、ある程度の基本的な

設計ができるそうですので、それを作った後に皆さんと話し合っ、話し合った後に実施設計となると本格的に始まるということでしたので、まだその基本設計ができないと、どうしたらいいのかちょっと分からないというふうでありました。

委員会としては、取りあえず皆さんのご意見の中でそういうご意見がありますと、そんなような方向で議長諮問をちょっとお答えしたほうがいい、また次の時までには考えていただくということですね。いうふうに進めていかなきゃなというふうに思いました。

○3番（小木曾光佐子君）

今年度は諮問に対しての答えを出せないですよという。

○委員長（辻 正之君）

そういうことですね。こちらも研究をしましたが、ちょっと出ませんということでした。

○3番（小木曾光佐子君）

2年たたないと、基本計画ができないので。

○委員長（辻 正之君）

それがまず出来上がってこんとちょっと難しいかなというところですよ。この件についてはこんなところで閉めちゃってもいいですか。分かりました。

○委員長（辻 正之君）

それでは、その他に行きたいと思います。

その他事項は、事務局からお願いします。

○議会議務局総務課長（加藤真由子君）

瑞浪恵那道路の議員連盟が6月1日9時15分からなんですけど、議長、副議長、委員会のメンバーが議員連盟となっていて、岐阜県が議長車とヴェルファイアを用意していくので、別れて乗っていただきたいんですけど、ヴェルファイアに8人乗っていただくと思うんですが、ひょっとしてご自分で行きたい方がいないかと。

9時15分からですが、できれば8時55分までに到着いただければいいかなと思います。

それが残って。

○委員長（辻 正之君）

何か質問ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

本日は大変スムーズに進みましたので、ありがとうございました。

じゃあ、そういうことでまとめていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（辻 正之君）

本日の令和6年第4回リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会を終了いたします。

お疲れ様でした。

午後 2 時00分 閉会